

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 平成 29 年度 委員会・研究会の活動について

※各委員会、研究会への参加をご希望の方は、CSAJ Web ページから、お申込みください。

⇒ <http://www.csaj.jp/committee/>

▶ 総務委員会

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

国の施策などを見据え、必要に応じて政策提言等の意見を各委員会・研究会等から求め提案します。また、会員拡大に向けた施策などを含む協会全体の運営に関わる基本問題等を討議するほか、必要に応じて準備会、ワーキンググループ等を設置し、具体的な検討を行います。

○理事候補選定準備会

▶ 政策委員会 委員募集中

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

副委員長：水谷 学（ピー・シー・エー㈱ 代表取締役社長）

コンピュータソフトウェア産業の健全な発展のための施策（例えばセキュリティ人材の育成策の検討など）として、各委員会から発信される政策提言活動を後押しするとともに、政府・関係省庁等との意見交換や政策提言を申し入れる場として、勉強会や検討会を開催します。

また、税制の課題を検討するにあたり、諸外国における税制の調査等を行います。

なお、軽減税率対応 WG については、消費税が 2 年半延期されたことに伴い、進展があるまで休会とします。

● 経営力向上研究会 メンバー募集

主査：松倉 泉（㈱Harness LLP 代表取締役）

- ・経営力の向上を目指して、各種支援（経営、事業の改革・改善など）活動を行います。
- ・経営力向上を目的としたセミナー（交流・親睦含む）や勉強会を企画・開催します。
- ・経営に役立つ情報交換のために、大学や企業訪問を行います。

● 働き方改革研究会 メンバー募集

主査：中村 憲司（㈱大和コンピューター 代表取締役社長）

副主査：村瀬 正典（㈱バース情報科学研究所 代表取締役社長）

(1) 中小企業での IT 利活用によるテレワーク事例を収集し、テレワーク導入時の課題抽出、法律、人事労務、セキュリティなど分野別にガイドライン化を検討します。

(2) テレワーク、サテライトオフィスを活用した働き方の提言、実証実験を実施します。（袋井市、和歌山県などの地域と共に）

(3) 副業・兼業の自由化など検証と課題を整理し政府の働き方改革会議でテーマを中心に討議するなど提言が必要な場合は行います。

▶ 法務・知財委員会 委員募集中

委員長：水谷 学（ピー・シー・エー㈱ 代表取締役社長）

副委員長：平野 高志（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

副委員長：杉原 佳堯（グーグル㈱ 執行役員 公共政策担当）

コンピュータソフトウェア産業の健全な発展のため、以下 3 つの役割を担い、活動を行います。

(1) 法改正に対する業界団体としての意見発信

(2) 会員企業への法務関連情報提供（法改正・重要判例等）

(3) 会員企業の法務力アップ（契約・訴訟等法務の基礎知識やトラブル予防・事後処理ノウハウの習得）のための講座企画

なお、新年度では、官民データ利活用法に伴う電子署名法の制定、AI の開発ガイドライン、経済産業省の情報銀行、総務省の情報貸し金庫などのテーマは注視します。

▶ 人材委員会 メンバー募集

委員長：山本 祥之 (㈱インテリジェントウェイブ 特別顧問)

副委員長：木田 徳彦 (㈱インフォテック・サーブ 代表取締役)

国の施策を鑑み、次世代高度 IT 人材育成を主なテーマに、IT 業界が求める人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行います。また、経産省、(独)情報処理推進機構と IT 人材に関する意見交換や協議会等に出席し取り組みについて情報発信します。多様な人材(女性、障がい者、高齢者、外国人等)が活躍できる創造的で魅力のある産業の実現を目指すための人材活用策の提言をしていきます。

● 人材育成研究会 メンバー募集

主査：富田 伸一郎 (㈱ウチダ人材開発センタ 常務取締役)

第 4 次産業革命を実現する担い手として、IT 業界が求める人材の育成に注力していきます。多様化している技術動向を視野に入れ、必要な人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行い、その成果を求めるワークショップの推進や産官学連携も視野に入れた活動を継続します。主に注目すべき技術 (IoT、AI、ロボット、セキュリティ) を中心に人材育成手法や研修体系を整備、またグローバル人材、中高年 IT 人材の活用など働き方改革に合わせたキャリア教育も計画していきます。また、iCD 研究会とも連携し、会員に対してタスク、スキルを意識した人材育成計画を支援していきます。

● iCD(i コンピテンシ ディクショナリ)研究会 メンバー募集

主査：木田 徳彦 (㈱インフォテック・サーブ 代表取締役)

IIPA (独立行政法人情報処理推進機構) が提供し、企業の経営戦略などの目的に応じた人材育成に活用することができる i コンピテンシデクショナリ (以下、iCD) 導入を手助けする「iCD 活用ワークショップ」の実施、iCD を活用している企業の情報交換会である「iCD コミュニティ」、iCD の活用度を認証する「iCD 活用認証」等、iCD の普及・導入のための様々な活動を行います。

● 健康経営推進研究会 (旧名称：メンタルヘルス研究会) メンバー募集

主査：金成 葉子 (㈱シーシーダブル 代表取締役社長)

企業が従業員の健康管理を経営的視点で捉え、健康保持・増進に向けた活動を戦略的に実践する「健康経営」の考え方が広まっており、企業理念に基づき従業員への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上に繋がるものと期待されています。こうした流れを受け、当研究会では、この 2 年半の「メンタルヘルス研究会」活動の発展形として、健康経営のための「心と身体健康づくり」に活動の幅を広げ、協会会員の取り組み支援施策を企画・実施するとともに、協会、健保、国への積極的な提案・提言を図ります。(何れもダイバーシティ、メンタルヘルス関連を含んでいます。)

● 地方創生 IoT 支援研究会 メンバー募集

主査：近森 満 (㈱サートプロ 代表取締役 CEO)

本研究会では、IoT をテクノロジーではなく一般利用可能なサービスとして捉えるとともに、特に地方自治体における IoT への取り組みを一過性のものに終わらせないための IoT 教育の在り方について検討します。具体的には、関係省庁へのヒアリングやレクチャーを通じた IoT 教育の現状把握や、CSAJ 協会会員の地方創生への意識調査、経済産業省の地方版 IoT 推進ラボ事業との連携から、地方自治体における IoT 普及促進の道を探ってまいります。

▶ 国際委員会 委員募集中

委員長：青野 慶久 (サイボウズ㈱ 代表取締役社長)

副委員長：豊田 崇克 (ネクストウェア㈱ 代表取締役社長)

海外展開をする会員企業のフォローを目的に、EU 他国の越境データに関する規制の影響整理と関係政府機関との情報交換を図ると共に、海外団体 (政府機関、ソフトウェア協会) との情報交換、アウトバウンドの情報発信を行います。また、アジアビジネス研究会 (日中ビジネスワーキング含む) からの活動報告を受け、協会としての指針を決定します。

● アジアビジネス研究会 メンバー募集

主査：竹原 司 (㈱デザイン・クリエイション 最高顧問)

年 2 回程度の海外視察を行います。また、その報告会及び、アジアビジネスに係る講師を招へいしてのセミナーを年間 3 回程度行います。

日本国内で、アジア各国の大使館を訪問し、各国の IT 市場の動向をヒアリングし、調査および共同イベント開催を企画。日中ビジネス WG での活動も継続して行い、中国での展示出展を企画します。

▶技術委員会 委員募集中

委員長：田中 啓一（日本事務器(株) 代表取締役社長）
 副委員長：山本 祥之（(株)インテリジェントウェイブ 特別顧問）
 副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当）
 副委員長：原山 健一（BBソフトサービス(株) 取締役副社長 兼 COO）
 副委員長：大塚 桂一（インテル(株) 執行役員 営業本部 本部長）
 副委員長：佐野 勝大（(株)ユビキタス 代表取締役社長）

IT業界での最新技術動向やアプリケーション開発技術（インフラ技術含む）に関する情報配信企画などIT技術者の好奇心を触発し、成長を促すための施策を検討／実施します。また、企業の枠にとらわれないIT技術者間交流やコミュニティ形成を促進させる施策の検討・意見交換を行い、その一環として若手技術者を対象とした海外研修を継続運営し、新テーマの研究会/WGの設置を促します。

●ドローンプログラミングコンテスト企画検討WG

リーダー：佐野 勝大（(株)ユビキタス 代表取締役社長）
 市場形成期のドローン産業でのソフトウェアプログラマー育成と業務システムへの適用の本格化に向けた周辺ソフトウェア産業の活性化への寄与を目指し、CSAJ主催のドローンプログラミングコンテストの開催実現を目的に企画検討WGを設置し、実施を目指します。

●モバイルソリューション研究会 メンバー募集

主査：田中 啓一（日本事務器(株) 代表取締役社長）
 モバイルソリューションに関する、開発技術や動向を会員企業とそのエンジニアへ向けて様々な形で提供しビジネスの一助すること目的としています。
 ・モバイルデバイス(*1)やウェアラブルデバイス、AI音声アシスタントを含むIoTデバイスなどで動作するアプリケーションの開発技術の調査・研究・情報発信
 (*1)マルチプラットフォーム環境含む
 ・モバイル、ウェアラブル、IoTをシステムから活用するためのバックエンドサービスやハブ機能などのスタンダード動向の調査・研究・情報発信
 ・モバイル、ウェアラブルなどはで欠かせない、ユーザビリティ(UI/UX)動向の調査・研究・情報発信

●人工知能(AI)技術研究会 メンバー募集

主査：竹原 司（(株)デザインクリエイション 最高顧問）
 人工知能が、一般も含めて大きなブームとなり、加熱気味に推移する中で、その実態を見極め正しい適応可能性と社会的影響を把握し、協会員にとって、どのようなビジネスチャンスとなり得るかを正確に理解し、確実なビジネス化に結び付けて行くことを支援する活動を目的とします。

●IoT推進研究会 メンバー募集

主査：安井 昌男（(株)豆蔵 執行役員）
 全てのデバイスが繋がるIoT(Internet of Things)を実現するアプリケーション技術について、先進的なモデル事業の調査・研究を主にした活動で、企業間での知見の共有を図ります。また、政府が主導するIoT推進コンソーシアム及びIoT推進ラボへの関与を通じて実現可能なプロジェクトの創出や関連諸団体との協力関係を構築しIoTアプリケーションを実現するプレイヤー間の情報共有を目的とします。

▶セキュリティ委員会 委員募集中

委員長：笹岡 賢二郎（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事）
 副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当）
 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、予測されるサイバーセキュリティ人材不足の解消を目的とした人材育成促進施策や産官学の協力体制構築について検討／実施し、委員会においてMETIやIPAとの情報共有を適時行います。また、会員企業を含むソフトウェアベンダに向けたITセキュリティに関する最新テーマの情報配信や、下部ワーキンググループにて、会員企業を対象にCSIRT(Computer Security Incident Response Team)担当者によるコミュニティ形成を目指すISAC(Information Sharing and Analysis Center)設置の実現に向けた運営スキームの検討／実施についてWGを設置して進めます。

●自治体セキュリティ強化対策研究会 メンバー募集

主査：松田 利夫（㈱きっとエイエスピー 代表取締役社長）

協会会員セキュリティ・ソリューション・ベンダーのソリューションやノウハウを集結し、総務省のガイドラインに則った「自治体情報システム・セキュリティ強靱性向上モデル」を提案すると共に、自治体への情報提供、啓蒙、相談、導入支援等を行います。また、この活動を通じて、外部関連団体との提携活動体制の構築を目指します。

●データ消去証明推進研究会 メンバー募集

主査：田上 利博（㈱サイバートラスト ストラテジック・パートナーマーケティング部 部長）

機密データ抹消に関する高信頼性を社会的に実現するために以下を目的とします。

- ・パソコンの廃棄ならびにリユースにおけるデータ消去を行い、電子証明書に業界標準ガイドラインの策定ならびに事業化の検討
- ・スマートフォン、iDC の解約およびストレージ機器リプレイス時における保存されているデータ（バックアップデータ含む）の消去を行い電子証明書による署名の業界標準ガイドラインの策定ならびに事業化の検討

▶ ビジネス拡大委員会 委員募集中

委員長：豊田 崇克（ネクストウェア㈱ 代表取締役社長）

副委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

会員企業のビジネス拡大に向けて、さまざまな企画、運営を行い、本委員会より積極的な情報発信を実施していきます。具体的には、会員サービスにもつながるような、補助金、助成金情報を協会内でまとめて、興味のある会員企業に対して発信することでビジネスの拡大にもつながるような取り組みを検討するため、必要に応じて研究会等を設置し、活動を行います。

●ビジネスマッチング研究会 メンバー募集

主査：安田 敦（㈱バリューソフトウェア 取締役）

CSAJ 会員に限定せず、仕事を発注したい企業と仕事を受注したい企業の情報交換やマッチングの場を提供し、新たなビジネスチャンスの創出を目的とします。

●助成金等活用研究会 近日メンバー募集開始

主査：福井 泰代（㈱ナビット 代表取締役）

会員サービスにもつながるような補助金・助成金の活用について興味のある会員企業に対して情報提供を行い、会員企業の成長に寄与できるような取り組みを検討する活動を行います。

●B to B マーケティング研究会 近日メンバー募集開始

主査：植山 浩介（SATORI㈱ 代表取締役）

BtoB 業界および特にコンピュータソフトウェア業界におけるマーケティング活動を啓発し、マーケティング活動によって当該企業を成功に導くための活動を行います。

▶ 交流委員会 AB 交流会メンバーの募集

委員長：東尾 公彦（コナミホールディングス㈱ 取締役）

副委員長（AB 交流会リーダー）：田中 聡（㈱ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長）

副委員長（AB 交流会サブリーダー）：中道 泰隆（JB アドバンスト・テクノロジー㈱ 理事）

会員同士の交流として、会長杯親睦会、エグゼクティブセミナー、会員交流会などの企画、運営の他、主催しているアライアンスビジネス交流会でのプレゼンテーション強化策（プレゼンテーション企業数やデモの展示方法の見直し）、聴講者数増加のための検討や特別講演の企画、運営などを行います。

▶ プログラミング教育委員会 委員募集中

委員長：田中 邦裕（さくらインターネット㈱ 代表取締役社長）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

2020 年に始まる初等教育におけるプログラミング教育の必修化に向けて、業界団体として行えるサポート体制について検討します。具体的には先進的な教育現場との交流を通してニーズを把握し、盛り立てられるような仕組みづくりについて検討します。

<協会の事業等に関する委員会>

▶ プライバシーマーク審査関連委員会

・ プライバシーマーク審査判定委員会

委員長：水越 尚子（エンデバー法律事務所 弁護士）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、第三者機関的な位置づけとして、CSAJ のプライバシーマーク審査員が実施した審査結果（文書審査及び現地審査）に基づいて、プライバシーマークの付与適格性審査を行います（全委員の氏名、開催日程などは非公開）。

また、同委員会では、付与事業者等の個人情報事故報告に対する措置も審議・決定します。

▶ PSQ 認証関連委員会

・ PSQ 認証制度委員会

委員長：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

国産パッケージソフトウェアならびにクラウドアプリケーションの品質が世界で通用することを証明する活動として、ISO/IEC25051（JISX25051）に準拠した『品質認証制度』の維持・継続に向けた制度運用の改善を推進します。

・ ソフトウェア品質向上研究会

主査：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

○国際規格 ISO/IEC25000（SQuaRE）に基づいた「ソフトウェア品質」の考え方を理解し、実践への適用の方法を研究します。

○（パッケージ）ソフトウェアの品質課題とその解決策を検討します。

・ PSQ 技術委員会

委員長：福島 満（㈱OSK 品質保証部部長）

副委員長：小川 敦（㈱アール・アイ 代表取締役）

PSQ 認証制度において ISO/IEC25051（JISX25051）に準拠した評価基準の策定等の技術的事項の改善策の審議を行います。

・ PSQ 判定委員会

委員長：東 基衛（早稲田大学名誉教授）

PSQ 認証制度において、認証等の授与、拒否または取消しに関する事項等の審議を行います。

・ PSQ 公正性委員会（平成 29 年度新設予定）

（委員長：未定）

▶ U-22 プログラミング・コンテスト実施関連委員会

U-22 プログラミング・コンテストは、優れた才能を持った若者を発掘・育成するため、経済産業省が昭和 55 年から平成 25 年まで主催していた「U-20 プログラミング・コンテスト」の歴史を引き継ぐコンテストで、平成 26 年度より民間に移行したことにより、「U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会」が主催、CSAJ が運営事務局として開催を継続しています。

・ U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会

委員長：青野 慶久（サイボウズ㈱ 代表取締役社長）

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」を主催し、コンテスト実施に関わる骨子、運営、予算執行等の意思決定を行います。なお、実行委員会のメンバーは開催年のプラチナ・ゴールドスポンサーによって構成されます。

・ U-22 プログラミング・コンテスト審査委員会

委員長：笥 捷彦（早稲田大学 名誉教授）

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」における審査基準・審査プロセスを決定し、一次審査会、最終審査会において応募作品の審査を実施、経済産業大臣賞・商務情報局長賞をはじめとする各賞を決定します。なお、審査委員会のメンバーは外部有識者等によって構成されます。

▶ CSAJ スタートアップ支援事業

平成29年で3年目となる本事業では、ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を引き続き行います。なお、実際に起業家等への投資を行う「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合（CSAJが無限責任組合員（GP）、略称：CSAJファンド）」は、本事業の趣旨に賛同される企業等により、平成27年6月にCSAJとは別組織として設置され、CSAJは、無限責任組合員(GP)としてその事務局運営を引き続き請け負い協力していきます。

1) 運営委員会

委員長：和田 成史 ((株)オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長)

「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業を広く募集し、ソフトウェア分野における起業家を発掘するとともに、先輩起業家等による支援を行います。また、CSAJファンドの運営を管理するとともに、投資先の支援も継続して行います。

2) 投資委員会

委員長：荻原 紀男 ((株)豆蔵ホールディングス 代表取締役社長)

CSAJスタートアップ支援事業にエントリーのあったスタートアップ企業の中から、事前審査を通過した企業の最終審査を行い、今後成長が見込めると判断した投資候補企業(起業家等)をCSAJファンドに推薦します。

<外部委員会>

▶ 情報システム取引者育成協議会

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに、情報システム取引で生じるリスクやトラブルを防ぎ、公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する者を育成し、信頼性の高い情報システムの構築に寄与するための教育プログラムを実施する「情報システム取引者育成協議会（主催：CSAJ・一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）」の運営に協力します。

○ 契約検討委員会

委員長：板東 直樹 / アップデートテクノロジー(株)代表取締役社長

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに作成されたモデル取引・契約書、重要事項説明書、ガイドライン等に係る普及推進のために実施する通信教育講座内容等の検討を行います。

※情報システム取引者育成協議会の URL <http://www.system-tr.jp/>

▶ CEATEC JAPAN 実施協議会

CSAJ と一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) の3団体により「CEATEC JAPAN」を主催しています。

・ CEATEC JAPAN 実行委員会

主催3団体の会員企業で構成し、展示、カンファレンス等を企画検討しています。

平成 29 年度委員会・研究会等参加登録申請

委員会・研究会へのお申し込みはWebサイトから

CSAJトップページ
<http://www.csaj.jp/>



会員ログイン



会員メールアドレス登録・
研究会等参加登録申請

※お申込は、原則 CSAJ 会員限定です。(但し準会員は、各委員会・研究会で対象としている場合は、承認を得た場合に限り、参加が可能です)

※一部の委員会・研究会は、募集を行っていないものもございますので、ご了承ください。